

## 行政

6月定例会で提案された各議案について、本会議や各常任委員会で審議を行いました。

ここでは、本会議や委員会での主な質疑の内容を掲載しています。

### 機構改革 期待される相乗効果は

議員 8月に行われる機構改革で、教育委員会所管の公民館が市長部局に移管されますが、この移管で期待される相乗効果について伺います。

みらい創生室主幹 多くの市民が利用する地域の拠点でもある公民館を市長部局へ移管することにより、生涯学習や文化など他の行政分野と、それぞれの特色を生かしつつ連携を図りながら、効果的に施策を推進しようとするものです。

議員 目指す高槻市の未来に向け行政機構の見直しは重要であり、その目的を

職員各位が強く認識をして取り組みを進めてほしい。

また、部や課を横断し連携して課題解決に取り組む姿勢は、機構改革後も変わらず継続してほしい。



▲市長部局の所管となる公民館

### 特別職報酬等審議会 公平性・透明性ある運営を

議員 特別職報酬等審議会が、平成6年以降開催されなかった理由と、今回開催に至った経緯を伺います。

人事企画室主幹 市長の条例の本則上の給料額が、平成6年の改定以降、他の中核市の状況を見ても、常に中位から下位に位置していたことから、今まで開催を見送ってきました。しかしながら、昨年の議会でのご意見や、当審議会が開催

されていなかった状況等を踏まえ、市長、市議会議員の改選後のこのタイミングで審議会を開催し、第三者の見地からフラットにご審議いただき、判断を仰ぎたいと考えたからです。

議員 理由があるとはいえず30年近く開催されていないことは審議会の設置趣旨から見ても遺憾であるので、今後は少なくとも4年に一度程度開催し、特別職の報酬額等の妥当性について検討してほしい。また、公平性・透明性ある運営のために審議会の公開と議事録の作成をし、委員は、様々な視点から審議するため多方面で活躍している方や市内に限らず市外からも選任してほしい。

## 保育

### 保育所等の業務効率化推進 システム導入の状況は

議員 保育士等の業務環境改善のため、保育計画の作成、園児の登降園管理、

保護者との連絡の3つの業務のICT化に伴うシステム導入支援を行うとのことですが、これら業務のシステム導入施設の状況について伺います。

保育幼稚園事業課長 今回補助対象とする3業務のいずれかのシステムを既に導入している施設は、保育所、認定こども園では約8割、小規模保育事業所では約5割となっており、園児数の多い保育所、認定こども園で導入率が高く、特に園児の登降園管理システムの導入が比較的進んでいる状況です。

議員 システム導入による保育の質の確保・向上等に資する取り組みである保育所等の業務効率化の推進は重要です。

## 教育

### 不登校児童生徒への 漢検を活用した取り組み 効果の検証を

議員 学習面のつまずき

が不登校の要因の一つであるとの分析から学習面のサポートによる登校意欲の向上が狙いだと理解しますが、学習につまずきのある子の中には間違えること等がストレスとなる子が多く、また、漢検は級数が小学校の学年と対応する部分があるため、下の学年に相当する級の受検が劣等感につながるおそれもあります。この点に関し見解を伺います。

教育指導課長 最終の受検結果だけでなく、学習過程を重視した取り組みにしたいと考えており、受検級の決定については、児童生徒が自ら目標を設定し前向きに学習に取り組めるよう家庭とも連携していきます。

議員 不登校の児童生徒一人一人に合った支援には丁寧に取り組んでいただき、漢検についても効果を検証し、問題があれば是正するよう取り組んでほしい。

